

平成三十一年度 入学試験（平成30年12月15日）

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

言語を得て以降、人間は言葉で思考するようになりました。

今を生きる私たちは、言語を使って考えることに慣れていて、そのやり方が唯一のものであるかのように思いがちです。しかし、言葉で会話するようになる以前の人類も、生活しながら、頭の中であれこれ考えていたことは確かです。

もちろん、複雑な感情が浮かぶ心も、もっていました。

言語をもつ以前の人類やその祖先が「心」をもっていたことを、科学者も宗教関係者も疑ったりしません。また、死者を弔ったと推察される遺構の発見などから、絶滅した人類近縁のネアンデルタール人にも思考する頭脳があり、心があったと人類学者は確信しています。同じヒト族に分類されているチンパンジーは、離れた場所に行つて、ふたたび群れに戻つて来た際、抱きあつたり、背中を叩いたり、キスしたりするなど、キ（あ）カン（のあいさつ）をします。その行動はとても人間的で、言葉こそないものの、十分に「ただいま」「おかえり」という「気持ち」や、仲間に対する「心」が伝えられるものになっています。

イヌやネコを飼育する人たちは、日々、彼らの心や感情と向き合い、それを受け止めたり、自分の感情を伝えたりしながら暮らしています。慣れた人間ならば、彼らの喜び、怒り、不安、退屈感、空腹感などを感じて、必要な対応や行動をすることも簡単です。もちろん飼い主は、イヌやネコが、彼らなりに「考えている」こと、「心をもっている」ことを疑ったりしません。

I、ほんの少し前まで、心や感情や思考をもつのは人間だけだと、頑なに信じられていました。たとえば半世紀前の一九六〇年代前半は、「性格、心、情動は人間にのみ認められる属性であり、人間以外の動物の行動のほとんどは、環境的、もしくは社会的な刺激に対する反応にすぎない」というのが（一）研究者の共通認識であり、反する考えをもつた者は「異端」として、研究の世界から追放されるような状況にもありました。

幸いなことに、それはすでに過去のものとなりつつあります。動物たちに心がないと妄信するのは科学的ではなく、人間だけが心をもつと考えることもまた人間のゴウ（い）マン（であるという思想も浸透しつつあります）。

時代は、確実に変わってきています。

生物がその環境を生き抜きながら進化するなかで、「感情」や「好み」をもつようになってきたことは、まぎれもない事実です。今日も食料が得られたことは、動物にとつてあきらかに「うれしい」ことであり、「好き」「好ましい」と感じる心があつたからこそ、性淘汰も進みました。本能的な恐怖や経験に基づく恐怖が危険な状況を予測させ、「不安」を感じるようになったことで、危機のカイ（う）ヒも可能になって、生存の確率が上がったことも否定で

きません。

II、最

動物が肉体的に進化するのと同時に、脳も進化し、発達してきました。新の脳科学は、脳と心が切り離せない関係にあることを強い説得力をもって証明しています。

III

、人間以外の動物にも心はあり、進化に合わせて変化させてきたと考えるところこそが自然です。なぜなら、すべての脊椎動物は、過去の地球に誕生したある生物から

a

b

してきたわけですから。

動物の中に「人間と同じ心」が存在すると考えることは、もちろんナンセンスですが、動物にはその動物なりの心があると考えて、おかしなことはありません。

動物の生態や心理を専門とする研究者は、動物がどんな心をもつのか、また、人間を含めた動物の心はどのような進化の道をたどって今に至ったのか、なぜ今のような心をもつようになったのか、ということに関心を寄せはじめています。人間の心の進化についての理解を深めたいと考える研究者も同様です。動物の心の進化、変化とその理由の解明は、人間がもつ「人間とはなにか」という永遠の問いにも、ヒントを与えてくれる可能性があるからです。

心とも密接に関わる「思考」についても、深い研究と(え)コウサツが始まりつつあります。

言語を介さなくても脳の中で論理的な思考は可能であること。また、学習したり、道具を生み出すことも可能であり、未来予測さえできることを、鳥は示してくれました。

まだ動物的に暮らしていた言語をもつ以前の人間が、どう思考していたのか教えてくれる存在がいるとしたら、それは身のまわりにいる鳥や動物などの生き物以外にありません。なかでも、人間に近い頭脳や心をもった鳥から教わることに、学べることは、予想以上に多いかもしれません。

アレックスは亡くなっても、ペッパバーグ博士のもとでは、他のヨウムにさまざまなことを学習させる研究が続けられています。人間の言語を介してやりとりができる鳥を通して深められることはまだまだあります。思考、ということについて、ヨウムや他の鳥たちの研究を通して、この先も興味深い結果が提出される可能性は十分にあります。

動物は本来、感情を隠すことができず、表情や態度に自然に出てしまいがちです。しかし、捕食される側の野生動物の場合、弱さや油断を見せると敵に狙われる可能性が高まることから、隠せるものは隠そうとします。怪我や体調不良はもとより、体調からくる不安も、見せないようにします。もともと、生きることで精いっぱい野生の環境では、喜怒哀楽などの感情はゆっくり浸るものではなく、瞬時に通り過ぎるものでもあります。

鳥も、捕食される側の生き物ですから、哺乳類などの例と同様、隠せるものは隠そうとする傾向があります。もちろん、(2)野生の鳥には喜んだり怒ったりする余裕はあまりありません。とにかく生きていくことだけで精いっぱい、感情に振り回されている余裕はないのです。

IV

鳥には表情筋が少ないため、仲間に意思や感情を伝える必要があるときは、声や全身表現とあわせて伝えようとなります。飛行中は、まわりに注意を払いつつ飛行することに集中しているため、感情を表現する余裕は基本的にありません。仮にそれができたとし、たがいに読み取る余裕がありません。飛行する鳥は速すぎて、人間が表情などを見きわめるのは困難でした。

とりわけ小鳥類は、もともと体が小さく臆病な生き物ですから、その多くは、わざわざ人間やほかの動物のそばに近寄ろうとは思いません。じっくり姿を見せようとも思いません。安全な高い枝に止まっているときや地上でくつろいでいるときだけ、鳥は少しだけ緊張感を解き、穏やかな表情を見せます。さえずる鳥の多くも、高い場所に留まって声を張り上げます。

こうした理由から、鳥には感情がない、心がない、思考がないと思われ続けてきたわけです。

ひとつ、誤解を解いておきたいのですが、さえずっている鳥を見たり、声を聞いたりした人が、『楽しそう』にうたっている」と感想を口にする場合があります。しかし、それは人間の思い込みで、さえずっている鳥の心に「楽しい」という感情はおそらくありません。

鳥のさえずりは伴侶を得るためか、ナワバリの主張のためのもの。とにかく声を出し続けることに必死で、楽しむ余裕などないからです。多くの鳥は、人間のように歌うことを楽しんで、自分の歌声に酔うことは基本的にしないと考えてください。

しかし、だからといって、鳥に感情がないかといえればそんなことはなく、「条件」さえ整えば、豊かな表情や、さまざまなことに心を揺り動かされる様子を見せてくれます。

食べるものに困らない、捕食者につかまる心配がない。安心して眠れる場所がある。守ってくれるなど、安心できる存在がいる。こうした条件がそろえば、驚くほど豊かな感情表現（情動）を見せるようになります。

身近な場所では、家庭という空間が、そうした条件のすべてを提供するほか、鳥を大事にしている研究室でも、同様の条件を満たすことがあります。いずれにしても、鳥が余すことなく感情を見せるようになるのは、心がリラククスできる状況になった場合にかぎられません。

雛や若鳥のときから人間に育てられた鳥の多くは、人間に対する（お）ケイカイ心が弱くなって、よく知っている相手の前では、特にくつろいだ態度も見せるようになります。怒りや喜びなどの感情も、表情や態度にストレートに現れるようになります。

踊ってみせたり、無邪気にはしゃぎまわったり、人間の子供が遊んでいるような姿を披露する鳥は、ときに、野生で暮らす同種とは「完全に別の生き物」にも見えます。

こうした鳥の姿を見る機会があるのは基本的に飼育経験者だけで、鳥と関わりがなかったり、関係が薄い人が目にするのはほとんどありませんでした。鳥類や野生動物の専門家でも、自身が鳥を飼育しているうちの、さらにごく一部だけがこの変化を見ているように思えます。

V

多くの研究者が、野で見るものとは別の顔が鳥にあることを知りません。それどころか、飼育下で著しく変化した鳥を見て、「鳥本来の姿を歪めた」と怒り出すことさえあります。

しかし、野生では見られない、感情もあらわな鳥の姿は、「矯正」や「歪み」などではなく、言うなれば、ともに暮らす人間が、鳥に偏見をもつことなく、十分な愛情を注いだ結果、受け止めたその鳥精神に起きた変化と違っていいものです。

生きることで精いっぱい野生では、生きることに直接関係ないさまざまなスイッチはある意味オフになっています。ただ飼われているだけの鳥も同様です。それが、条件がそろったことでオンになったと考えるべきかと思えます。変化して見えた鳥の姿もまた、その鳥がもともともっていた資質の、隠れていた部分が見えるようになったと考えた方がスムーズです。

野良猫と飼い猫がちがうように、野生で見せる顔は、鳥のひとつの顔であって、それが鳥のすべてではないと考えると、いろいろ納得のいく答えが見えてくるのではないのでしょうか。

そこで大事なのが、「飼う」ではなく、「ともに暮らす」ような意識のもと、幼い時期から同じ空間でいっしょに生活し、部屋の中という狭い空間ではあっても自由に飛ばせ、見たいものを見て、遊びたいもので遊ばせるようにすることです。子供と同じで、自分で考える環境を与え、のびのびと生活させると、鳥は確かに脳の中にあるいくつかのスイッチをオンにします。その結果、野生では見られないような顔を見せるようになります。

カラスは野生でいながら、(3) 先に挙げた「条件」を自分自身で満たすことができます。その結果として、遊び行動などが表に出てきているわけです。またそこから、彼らがつ豊かな感情や思考も見えてきます。人間が環境を整えることで、多くの鳥がカラスのような自由な姿を見せる可能性があります。そこから見えてくる真理もあるように感じています。

(細田博昭『鳥を識る―なぜ鳥と人間は似ているのか―』春秋社)

問一、(あ) (お) の傍線部と同じ漢字を使うものを、次の各群の1〜4のうちから、

それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| (あ) キカ | 1、カン謝 | 2、カン境 | 3、カン僚 | 4、カン元 |
| (い) ゴウ | 1、マン足 | 2、緩マン | 3、散マン | 4、マン頭 |
| (う) カイ | 1、ヒ難 | 2、ヒ番 | 3、王ヒ | 4、ヒ劣 |
| (え) コウ | 1、コウ沢 | 2、思コウ | 3、コウ動 | 4、コウ騰 |
| (お) ケイ | 1、尊ケイ | 2、凶ケイ | 3、ケイ告 | 4、ケイ馬 |

問二、傍線部(1) 1960年代の「研究者の共通認識」にあてはまらないものを1〜4から選びなさい。 【解答番号6】

- 1、イヌやネコ、鳥類にも心がある
- 2、心や感情をもつのは人間だけである
- 3、人間以外の動物の行動のほとんどは環境的社会的刺激に対する反応に過ぎない
- 4、性格、心、情動は人間にのみ認められる属性である

問三、

a

、

b

に入る語として最も適当なものを、それぞれ1〜4から選びなさい。 【解答番号7、8】

- a 1、類型化 2、分化 3、純化 4、浄化
- b 1、強化 2、退化 3、微細化 4、進化

問四、傍線部(2)「野生の鳥には喜んだり怒ったりする余裕」があまりないのはなぜですか。最も適切なものを1〜4から選びなさい。 【解答番号9】

- 1、感情の表現に慣れていないから
- 2、多忙な日々を送っているため、感情に振り回されていられないから
- 3、飼われられていない自然の状態だから
- 4、捕食される危険が常にあるから

問五、

I

と

V

に入る語として最も適切なものを1〜4から選びなさい。 【I…解答番号10、II…解答番号11、III…解答番号12、IV…解答番号13、V…解答番号14】

- I 1、そのため 2、そうであるなら 3、ちなみに 4、しかし
- II 1、そして 2、そのため 3、ただ 4、そうはいつでも
- III 1、ただ 2、そうであるなら 3、にもかかわらず 4、そのため
- IV 1、ただし 2、そうはいつでも 3、しかし 4、また
- V 1、それでも 2、なおかつ 3、そのため 4、しかし

問六、傍線部(3)「先に挙げた「条件」

□

としてあてはまるものを1〜4から選びなさい。 【解答番号15】

- 1、鳥かごの中を飛び回れるという条件
- 2、狭い鳥かごの中で放置され、ただ餌を与えられるだけの状態
- 3、成鳥になってから人間と生活を共にする
- 4、身の安全が守られ、自由に考えることができる環境

問七、本文の内容と合致するものを選びなさい。

【解答番号 16】

- 1、動物の中には、人間と完全に同じ心が存在する。
- 2、鳥には表情筋が少ないため、仲間に意思や感情を伝えることは不可能である。
- 3、捕食される側の野生生物の場合、弱さや油断を見せると敵に狙われる可能性が高まることから、隠せるものは隠そうとする。
- 4、言語を介さなければ、論理的な思考を行うことは不可能である。

二、次の四字熟語の□にはそれぞれ数字（または数字の単位）が入る。その組み合わせとして最も適切なものを1〜4から選びなさい。

【解答番号 17〜21】

17 □位□体

1. 一・十 2. 一・三 3. 三・一 4. 十・五

18 □載□遇

1. 九・十 2. 一・九 3. 三・三 4. 千・一

19 □寒□温

1. 三・四 2. 二・三 3. 四・三 4. 一・四

20 十中□□

1. 十・八 2. 八・九 3. 九・九 4. 十・一

21 □差□別

1. 十・万 2. 一・十 3. 十・百 4. 千・万

三、次の語句について、正しい読みを1〜4から選びなさい。

【解答番号 22〜27】

22 会得 1、かいえ 2、ええ 3、かいとく 4、えとく

23 踏襲 1、ふしゅう 2、ふんしゅう 3、とうしゅう 4、どんしゅう

24 倦怠 1、けんたい 2、げんだい 3、けんだ 4、けだい

25 仰臥 1、ぎょうが 2、こうぎょう 3、こうが 4、ぎょうぶ

26 慄然 1、ぞくぜん 2、りつぜん 3、れきぜん 4、あぜん

27 呪縛 1、だばく 2、そくばく 3、じゅばく 4、とばく

四、次のカタカナ語の意味として最も適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号 28～31】

28 メディア

1. 単体
2. 媒体
3. 主体
4. 客体

29 アイデンティティー

1. 新記録
2. 規範
3. 自己認識
4. 他者理解

30 メンタルヘルス

1. 心の健康
2. 心の不健康
3. 体の健康
4. 体の不健康

31 インフォームドコンセント

1. 欠陥製品をいったん回収すること
2. 建物監視装置を取り付けること
3. 充電を行う電源
4. 十分な説明を受けた上での同意

五、32～35の文章が書かれている作品名を、1～4からそれぞれひとつ選びなさい。

【解答番号 32～35】

32 「どつどつどつどつうど どどどうどど どどどう」

1. 『風の又三郎』
2. 『雪国』
3. 『炭鉱』
4. 『トロッコ』

33 「石炭をば早や積み果てつ。」

1. 『蟹工船』
2. 『一握の砂』
3. 『舞姫』
4. 『どくどくとるマンボウ航海記』

34 「廻れば大門の見返り柳いと長けれど、」

1. 『たけくらべ』
2. 『みだれ髪』
3. 『蒲団』
4. 『羅生門』

35 「親譲の無鉄砲で小供の時から損ばかりしている。」

1. 『草枕』
2. 『悦ちゃん』
3. 『明暗』
4. 『坊ちゃん』

解答

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

問一、(あ) (お) の傍線部と同じ漢字を使うものを、次の各群の1～4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

1点／5点

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- | | |
|----------|-------|
| (あ) キカン | 4、カン元 |
| (い) ゴウマン | 2、緩マン |
| (う) カイヒ | 1、ヒ難 |
| (え) コウサツ | 2、思コウ |
| (お) ケイカイ | 3、ケイ告 |

問二、傍線部(1) 1960年代の「研究者の共通認識」にあてはまらないものを1～4から選びなさい。

4点【解答番号6】

1、イヌやネコ、鳥類にも心がある

問三、

a

、

b

に入る語として最も適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

各3点／6点【解答番号7、8】

ⓑ 2、分化 ⓓ 4、進化

問四、傍線部(2)「野生の鳥には喜んだり怒ったりする余裕」があまりないのはなぜですか。最も適切なものを1～4から選びなさい。

5点【解答番号9】

4、捕食される危険が常にあるから

問五、

I

～

V

に入る語として適切なものを1～4から選びなさい。

各3点／15点

【I：解答番号10、II：解答番号11、III：解答番号12、IV：解答番号13、V：解答番号14】

- | | |
|-----|-----------|
| I | 4、しかし |
| II | 1、そして |
| III | 2、そうであるなら |
| IV | 4、また |
| V | 3、そのため |

問六、傍線部(3)「先に挙げた「条件」としてあてはまるものを1～4から選びなさい。

5点【解答番号15】

4、身の安全が守られ、自由に考えることができる環境

問七、本文の内容と合致するものを選びなさい。

5点【解答番号 16】

3、捕食される側の野生生物の場合、弱さや油断を見せると敵に狙われる可能性が高まることから、隠せるものは隠そうとする。

二、次の四字熟語の□にはそれぞれ数字（または数字の単位）が入る。その組み合わせ

として最も適切なものを1〜4から選びなさい。各3点／15点【解答番号 17〜21】

□位□体 3. 三 一 一

□載□遇 4. 千 一 一

□寒□温 1. 三 一 四

十中□□ 2. 八 一 九

□差□別 4. 千 一 万

三、次の語句について、正しい読みを1〜4から選びなさい。

2点／12点【解答番号 22〜27】

会得 4. えとく

踏襲 3. とうしゅう

倦怠 1. けんたい

仰臥 1. ぎょうが

凛然 2. りつぜん

呪縛 3. じゅばく

四、次のカタカナ語の意味として最も適当なものを、それぞれ1〜4から選びなさい。

各4点／16点【解答番号 28〜31】

メディア 2. 媒体

アイデンティティ 3. 自己認識

メンタルヘルス 1. 心の健康

インフォームドコンセント 4. 十分な説明を受けた上での同意

五、32〜35の文章が書かれている作品名を、1〜4からそれぞれひとつ選びなさい。

各3点／12点【解答番号 32〜35】

「どっどどどど」 どどどど どどどど 1. 『風の又三郎』

「石炭をば早や積み果てつ。」 3. 『舞姫』

「廻れば大門の見返り柳いと長けれど、」 1. 『たけくらべ』

「親譲の無鉄砲で小供の時から損ばかりしている。」 4. 『坊ちゃん』